

平成29年度小松島市重要事業実施に伴う政策等の形成過程説明シート

事務事業名	排水機場管理運営事業			整理番号	-
				担当課係	都市整備課
事業予算費目	款	8	土木費	記入者職・氏名	
	項	7	都市計画費	内線等	222
	目	3	都市下水道費	事業区分	経常事業
	大事業	1	排水機場管理運営事業	事業期間	平成 - 年 ~ - 年度
事業の実施主体	市（委託・補助事業含む）				
根拠法令等	河川管理施設等構造令 等				

■事業の概要・全体計画等（政策の発生源、提案に至るまでの理由）

雨水浸水被害等の防止・軽減を図り、市民の皆さんの生命、財産を守るため、現在、32箇所の市が管理している排水機場、ポンプ場等があり、内、県管理の2級河川に設置している海岸堤防の高潮対策である6箇所の排水機場を管理している。

事業の内容	手段（計画している主な活動の内容、手段、手順）
	降雨時の浸水被害の防止・軽減を図るために市及び排水機場の管理人が各排水機場及び樋門を適性に点検・維持管理を行う。
事業の目的	効果（事業実施によってどういう状態・結果に結びつけるか）
	市内の各排水機場の効率的な運転及び適性な維持管理を行い、降雨災害の防止・軽減を図り市民の生活環境を守る。

■総合計画(前期基本計画)との整合性

事業目的が総合計画(前期基本計画)上の施策に結びついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> いる	総合計画(前期基本計画)上の位置付け	基本目標	1. 安全・安心なまちづくり
	<input type="checkbox"/> いない		大項目	① 安全・安心で快適に暮らせるまちづくり
			中項目	1-1安全・安心な日常生活の確保
			小項目	市民の生命、財産を守る雨水排水対策
<p>(理由)</p> <p>近年の降雨特性の変化や市街化の進展などによる保水力の低下など、雨水排水施設の効率的かつ効果的な整備が求められており、あわせて、施設、設備の老朽化対策も課題となっていることから、安全・安心で快適に暮らせるまちづくりには、降雨災害等に強い都市づくりを進める必要がある。</p>				

■他の自治体の類似する政策との比較検討

他の自治体も同様に、施設、設備等の老朽化対策の課題解消に直面しながらも、浸水対策の対応を行っている。

■市民参加の実施の有無とその内容 (有・**無**) ○を入れてください。

事業の対象	対象(誰、何を対象にしているのか)
	小松島市全域を対象に、降雨時の浸水被害の防止・軽減を図るため、市が管理する排水機場及び樋門の維持管理を行う。
事業の意図	意図(事業の狙いはなにか、対象をどう変えるのか)
	市内の各排水機場の効率的な運転及び適性な維持管理を行い、降雨災害の防止・軽減を図り市民の生活環境を守る。
事業に対する関係者から要望等意見はどのようなものが寄せられているか	(市民、議会、事業対象者、意識調査等事業関係者からどのような意見・要望があるか)
	浸水被害の防止・軽減を図る排水機場については、地域住民も関心が高く、大雨警報発令時等は排水機場の稼働状況についての問い合わせや排水能力の増強等の要望もある。
事業を取り巻く状況等は、今後どう変化しますか?	(社会状況、根拠法令、規制緩和、周辺の状況等は今後どのように変化していくか)
	近年、局地的豪雨などにみられる降雨特性の変化や市街化進展などによる保水力低下などにより、排水機場の管理施設の治水事業の重要性がさらに高まってきている。

■事務事業に係るコスト・財源措置・将来に渡るコスト計算、有効性について

		全体計画	29年度	30年度	31年度	32年度以降	最終年度	
全体コスト	財源内訳	国 県 支 出 金	13,511	13,511				
		地 方 債	12,200	12,200				
		その他(利用者負担等)	700	700				
		一 般 財 源	26,637	26,637				
	A 直接事業費(千円)	53,048	53,048	0	0	0	0	
	人件費	正 規 職 員 数	0.30 人	0.30 人	人	人	人	人
		職 員 人 件 費 ①	1,845	1,845				
		臨 時 ・ 嘱 託 職 員 数	0.00 人	0.00 人	人	人	人	人
		臨 時 ・ 嘱 託 職 員 の 賃 金 等 ②	0	0				
	B 人件費計(千円)①+②	1,845	1,845	0	0	0	0	
A + B	54,893	54,893	0	0	0	0		
有効性について	① この事務事業を行わない場合の影響はありますか?	<input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> a ない	理由	各排水機場の効率的な運転及び適性な維持管理を行い、降雨災害の防止・軽減を図り市民の生活環境を守る当該事業は重要である。				
	② 類似事業との整理統合はできないか?	<input checked="" type="radio"/> できない <input type="radio"/> a できる	理由	現時点では、一般財源、県の負担金等で管理運営を行わなければならない。				
	③ 成果をさらに向上させる余地はありますか?	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> a ある	理由	管理運営のさらなる民間への委託等を進めたいが、民間企業、団体の受け手確保が難しくなっている。				
◎改善・効率化・見直しの方向性 ※上記において a を選択した場合、必ず記入してください。								
有効性	①							
	②							
	③							
所属長による総合的なコメント								
排水機場の適切な管理運営を行うことにより、浸水被害を未然に防ぎ、あるいは軽減することで安全・安心で快適に暮らせるまちづくりに向け引き続き取り組み、施設の点検、設備機器類の修繕更新は計画的に実施する必要がある。								